

瑞穂市マスコットキャラクター「かきりん」 着ぐるみ使用マニュアル

瑞穂市マスコットキャラクター「かきりん」着ぐるみの使用にあたり留意するべき事項を示してあるので、これを遵守し適切に使用してください。

瑞穂市 企画財政課

1. 着ぐるみ着用に伴う留意事項

(1) 着用者

着ぐるみは、できる限り身長155cm以上175cm以下の方が着用してください。(着ぐるみの構造上165cm以下の方が着用する方が可愛らしく見えます)。

なお、着ぐるみは視界があまりよくないうえ、構造や素材の関係で動きが制限されるため、着用時には周囲の状況に十分注意してください。

着ぐるみを着脱する際は、必ず介添者を1人以上と控室を用意し、控室において周囲の人目にふれないようにし、(7) 着用手順に従って着脱してください。

また、**2. 着用者の留意事項**を心掛けてください。

(2) 介添者

着ぐるみ着用者の視界は非常に狭くなるため、演技中や移動時においても必ず介添者をつけることとし、介添者は着用者の目や耳となり、着ぐるみ着用者が周囲の器物や人にぶつかったり、転んでケガなどしないよう常に注意を払ってください。

着ぐるみが損傷しないように、周囲の火気や雨水などにも注意を払い、着用者の歩行の介添えをしてください。

また、**3. 介添者の留意事項**を心がけてください。

(3) 着用時間

着ぐるみ内部は高温、多湿となるため、1回の使用を30分程度(夏季は15分程度)とし、十分な休憩をとるとともに水分補給を行ってください。

なお、使用が長時間に渡るときは、複数人が交代で着用してください。

(4) 着用の服装等

着用の際は、以後の使用者が快適に使用できるよう、素肌が直接着ぐるみに触れないように配慮してください。

着用時は発汗が多くなるものの、これを拭えないため不快感が高まります。汗を吸収させるように長袖シャツ(汗を吸いやすい綿等の生地のもの)、ズボン(ジャージ、スパッツ等)、靴下、手袋(軍手等)、バンダナ又はタオル(頭部)を着用してから着ぐるみを着用してください。

※特に着用時、頭部からの汗が目に入っても拭えないため、頭部からの汗が目に入らないようにケアすることが大切です。

また、お化粧品や整髪料等は落として着用し、香水等は使用しないでください。

(5) 天候について

雨天・降雪時は、屋外で着ぐるみを使用することはしないでください。天候が変わった場合には、速やかに撤収してください。

なお、天候の急変などで着ぐるみが濡れた場合は、すみやかに水分を拭き取った後、よく乾かし、返却時にその旨を必ず報告してください。

(6) パーツ一覧と取り扱い方法（※使用后、収納前に必ず確認してください）

パーツ	個数	説明
頭部	1ケ	・頭部が変形や型くずれをしないように、保管の時は狭い場所に置いたり、上に物を置かないでください。 ・のぞき部分は金網を使用していますので破損に気をつけるとともに、顔面を下向きに置かないで下さい。 ・ヘタ部分は外れやすく、傷つきやすいので、引っ掛けに注意してください。
頭部固定 パッド	長1 額1	・使用後は、乾いたタオルで水分を拭き取ってください。
胴体部	1ケ	・使用後の汗は、乾いたタオルで水分を拭き取ってください。 ・ファスナーが破損しないように、慎重に開閉してください。
保冷剤入れ (脇部分黄色袋)	2ケ	・保冷剤を入れて着用すると、着用時の高温化を抑制できます。
名札	1ケ	・胴体部に装着されています。
足部	2ケ	・使用後は、乾いたタオルで水分を拭き取ってください。
携帯袋	2ケ	・頭部用1ケ、胴体部及び足部用1ケ ・運搬時、パーツが人目にふれないように常に袋に入れて運搬してください。

※すべてのパーツは燃えやすい素材が使用されているので、火気には近づけないで下さい。

※本体が汚れた場合は、ぬるま湯で叩くようにして汚れを拭き取り、その後きれいなタオルで水分を拭き取ってください。

(7) 着用手順

<事前準備>

- ・着用補助者2人と着用者で着用します。
- ・下にシーツを引くなど、地面に着ぐるみを置かないようにします。

<着用手順>

- ① 胴体部のファスナーを開き、必要に応じて保冷剤入れに保冷剤を入れます。
- ② 着用者は胴体部の腿部、腕部の順に着用します。
- ③ 足部を履きます。
- ④ 胴体部の裾部分が長い場合は、内側に折り込み調整し足部にかぶせます。
- ⑤ 頭部を両側から着用補助者2人で持ち、着用者に被せます。
- ⑥ 着用補助者が頭部の中に手を入れ、着用者にアゴ紐を締めます。

※着用補助者が締めにくい場合には、着用者が腕部を脱いでアゴ紐を仮締めし、着用者が腕部を再度着用した後、着用補助者がアゴ紐を締めます。

※かきりんは頭部が大きいため、必ずアゴ紐を締めて着用してください。

⑦ 最後に胴体部の背面ファスナーを閉め、全体を整えれば終了です。

2. 着用者の留意事項

かきりんは、瑞穂市のマスコットキャラクターです。このことを十分理解し、イメージを損なうことが無いよう気をつけ、手を振る、握手する、口に手を当てる、バンザイする、かきりと写真撮影をする、などの動きを基本としてください。動作に疑問や不明な点がある場合には事前に市役所と相談して下さい。

また、かきりんは頭部が大きく、やや下向きになるため、若干上向き加減で動作することをお勧めします。

(1) 動きについて

①アクションは大きく

着ぐるみの手や足は短く、見ている側には動きが小さく見えますので意識的に大きく動いてください。

②お子さんには低い体勢で

小さなお子さんは、大きな着ぐるみに恐怖心を抱く場合もあります。お子さんに対しては、できるだけ低い体勢で接することを心がけ、追いかけたりするなどの恐がらせる行為は絶対にしないでください。

③喜ばれるポーズ

かきりんを着用して、手を振る、握手する、口に手を当てる、バンザイする、一緒に写真を撮る、などが観覧者から喜ばれます。

(2) 発声などについて

①着用中は声を出さない

キャラクターのイメージを損ないますので、絶対に発声しないでください（介添者との会話も厳禁）。

②着用者は常にやさしい気持ちで演じる

不都合な事態（叩かれる、くすぐられるなど）でもネガティブな感情を表に出さないように注意し、不都合な行動をする人の制御は介添者に対応してもらいます。

③介添者との間にサインを決めておく

着ぐるみ着用者は発声できませんので、介添者との間で「緊急事態」「トイレ」などのサインを事前に決めておくことが必要です。

(3) 移動について

①着用中は、長い距離を歩いたり階段・段差を越えることが難しいので、事前に現場の状況等を確認し、行動する距離や行動予定をたてておき、難しい部分があれば再度調整するなどの打ち合わせをしてください。

②頭部が大きいため、エレベータの乗降時には壁面等に頭部をぶつけないように気をつけてください。

- ③移動時も常に人目を意識し、奇怪な動作やポーズ等をしないようにしてください。
- ④着ぐるみ着用時は視界が狭いため、物につまずいたり、子どもにぶつかるケースがあります。常に介添者の指示に従って移動してください。

3. 介添者の留意事項

(1) 介添者の立ち位置

- ①介添者は、かきりんのいわゆるマネージャーとなります。常にかきりんが楽しく行動できるよう心がけ、時には汚れ役になることもあります。
- ②緊急時にすぐ対応できるよう、着ぐるみとは付かず離れずの距離を保ち、写真撮影の際は、映らない位置まで移動してください。
- ③着ぐるみの斜め前あたりから先導し、必要な時は、手を引いて着ぐるみの歩行を補助してください。

(2) 声かけ

- ①着用者は周囲がほとんど見えなく不安になるものです。時折、着用者に声をかけて周囲の状況などを伝え、着用者を安心させてください。
- ②握手・写真撮影時などは、大きな声でかきりん（着用者）に伝え、スムーズな行動を誘導します。
⇒例：「かきりん、お友達が握手したいそうだよ！」
例：「かきりん、写真撮影だよ！こっちに来て！」

(3) 対応について

- ①着用時間はあらかじめ決めておき、時間になったらタイミングを見て撤収してください。
- ②着ぐるみに危害を加える人には、毅然とした態度で注意してください。
- ③お客さんからの質問には、代わりに笑顔で回答する。
⇒例：「かきりんは、男の子？女の子？」
【回答】「かきりんは、男の子でも女の子でもないんですよ！」
⇒例：「中には誰が入っているの？」
【回答】「かきりんは、かきりんですよ！」

4. 収納・返却時の留意事項

- ①汗をかいた場合は、よく乾かしてから収納・保管してください。
- ②靴の底の汚れを拭き取ってから収納してください。
- ③パーツの紛失や損傷を避けるために使用后、収納前は必ず点検をしてください。
- ④汚れや破損等によって、修理・クリーニング費用を請求させていただく場合があります。